

2011年12月14日

**Caterpillar問い合わせ先:**

Jim Dugan  
Corporate Public Affairs  
309-494-4100  
[Dugan\\_jim@cat.com](mailto:Dugan_jim@cat.com)

即時リリース用

**Caterpillar Inc. 配当率を維持、業績予想を再確認**

(イリノイ州ピオリア発) – Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) の取締役会は本日、四半期配当金率を普通株式1株につき46セント(0.46ドル)に維持することを決議しました。配当金は、2012年1月20日の営業終了時刻の時点で株主名簿に登録された株主に対し、2012年2月18日に支払われます。

CaterpillarのDoug Oberhelman (オーバーヘルマン) 会長兼CEOは「2011年の年の瀬にあたり、世界経済が多くの浮き沈みに見舞われた一年であったにもかかわらず、Caterpillarの業績が堅調に推移していることを喜ばしく思います」と述べました。また同会長兼CEOは「このような環境の中、当社は株主に対する利益を継続して増加させると同時に、財務基盤の強化とキャッシュフローの改善に取り組んできました。またCaterpillarに長期成長をもたらす一連の主要な投資計画を発表しました」とも述べました。

Caterpillarの株主への配当金は18年連続で増加し、1998年比で3倍以上となっています。本日の発表を含めてCaterpillarでは1925年の創業以来毎年配当金の支払いを実施しており、1933年11月以降は四半期配当を行っています。

**業績予想の再確認:**

Oberhelman会長兼CEOは「今年は全社をあげて目標に注力したことにより、2011年の事業目標を達成できるものと確信しています。2015年戦略計画に対する信念とあわせて、本日業績予想を再確認致しました」と述べました。

2011年の売上は約580億ドルとなる見込みで、この予想値にはBucyrusの売上約20億ドルが含まれます。Bucyrus買収による影響を除く2011年の売上は約560億ドルとなる見込みです。2011年の1株当たり利益は6.75ドル程度の見込みです。この業績予想に含まれるBucyrus買収に伴うマイナス影響は1株あたり約0.50ドルで、前回予測から変わりません。Bucyrus買収による影響を除く1株当たり利益は約7.25ドルの見込みです。2012年の事業計画は策定最終段階にあり、1月後半に予定される2011年業績発表とあわせてさらに詳細な業績予測を発表する予定です。

2012年の暫定売上予想に際しては、先進国の経済が緩やかに回復・成長を続け、売上も現在の低水準から継続的に改善することを前提としています。2012年の売上は、2011年の約580億ドル(見込み)から10~20%程度の増加を見込んでいます。2012年の業績予想には通年で約50億ドルの Bucyrus関連の売上が織り込まれていますが、これは2011年には一部期間の売上として約20億ドルが計上されていたものです。

### Caterpillarについて:

Caterpillar社は85年以上にわたって発展を遂げており、すべての大陸で積極的に活動を展開し、建設的で持続可能な変化を推し進めています。Caterpillarは、2010年に425億8,800万ドルの売上および収益を記録し、建設および鉱業用機械、ディーゼルおよび天然ガス・エンジン、産業用ガス・タービン、電気式ディーゼル機関車などの製造において世界をリードする企業です。Caterpillarはまた、Caterpillar Financial Services、Caterpillar Remanufacturing Services、Caterpillar Logistics Services、Progress Rail Servicesを通じ、世界トップクラスのサービスを提供しています。詳細については [caterpillar.com](http://caterpillar.com) をご覧ください。

### 将来予想に関する記述

本プレス・リリースで述べられている内容の一部は将来の出来事および予測に関連しており、1995年私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) において定義される「将来予想に関する記述」に該当します。これらの内容は既知または未知の要因の影響を受け得るものであり、Caterpillar社の実際の業績と将来予想に関する記述に明示的または暗示的に示されている内容には相違が生じることがあります。将来予想に関する記述には、“考える”、“予測する”、“予定である”、“はずである”、“〜であろう”、“予想する”、“期待する”、“計画する”、“想定する”、“意図する”、“可能性がある”、“〜のはずだ”等の言い回しや表現がしばしば含まれます。歴史的な事実以外のすべての記述は将来予想に関する記述であり、後者にはCaterpillar社による見通し、予想、予測、傾向の説明などが含まれます(ただしこれらに限定されるものではありません)。また、このような記述は将来の業績を保証するものではなく、Caterpillar社は将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

Caterpillar社の実際の業績は、以下に示す要因(これらに限定されるものではありません)等により、将来予想に関する記述に明示的または暗示的に示される内容とは大きく異なる場合があることにご注意ください。(i) 世界経済状況およびCaterpillarが事業を行う業界および市場での経済状況;(ii) 政府の財政・金融政策およびインフラへの政府支出;(iii) 商品またはコンポーネント価格の上昇および(または)原材料および鋼鉄を含むコンポーネント製品の不足;(iv) Caterpillar社およびその顧客、ディーラー、サプライヤの流動資金調達・管理能力;(v) Caterpillarのグローバルな事業展開に伴う政治および経済的リスク。これには法律、規制、政策の変更、通貨制限、収益の本国移管制限、関税または割当量の負担、国内および国際紛争(Caterpillarが事業を行う国におけるテロ行為および政治・経済不安または社会不安を含む)などが含まれます;(vi) Caterpillar社およびCat Financialの信用格付維持能力、借入コストの実質的な増加に対応する能力、または資本市場へのアクセス能力の欠如;(vii) Cat Financial顧客の財務状況および信用価値;(viii) Bucyrus International社の買収を含む各種買収および売却により期待された効果の実現不可能;(ix) Caterpillar社によるBucyrus International社の買収が何らかの事由(必要な認可が下りない場合を含むがそれに限られるわけではない)により締結されない可能性;(x) 輸入制限、資本管理、関税など国際取引および投資政策;(xi) CaterpillarのTier 4 準拠機械・エンジンの導入が成功しない可能性;(xii) Caterpillar製品やサービスに対する市場の受け入れ;(xiii) 競争環境での変化による影響(市場シェアの低下、値上げできない状況、地域およびプロダクトミックスごとの販売に対するネガティブな影響などを含む);(xiv) 労働組合との争議その他従業員関連の問題;(xv) CPSその他の生産性向上イニシアティブを成功裏に実施するCaterpillar社の能力;(xvi) CaterpillarディーラーまたはOEMの調達状況の悪化;(xvii) 環境に関する法律や規制に準拠するための費用;(xviii) 公正取引法規または腐敗防止法規への違反容疑または違反;(xix) 追加の租税公課または債務;(xx) 通貨の騰落。特に米ドルの他通貨に対する変動;(xxi) Caterpillar社または

Cat Financialによる信用機関の財務制限条項違反; (xxii) Caterpillar社の年金制度に基づく拠出額の増加; (xxiii) 影響の大きな法的手続き、申し立て、訴訟、審査等; (xxiv) 炭素排出規制法案または(および)規則が可決された場合の操業制限または順守要件の賦課; (xxv) 会計基準の変更または新しい会計基準の導入; (xxvi) 天災による悪影響; および (xxvii) その他の要因。詳細は2011年2月22日付SEC提出済みの2010年12月31日締め年度の年度に関わるForm 10-K Part I "Item 1A - Risk Factors"に記載されています。この提出文書は、[www.caterpillar.com/secfilings](http://www.caterpillar.com/secfilings) でご覧いただけます。